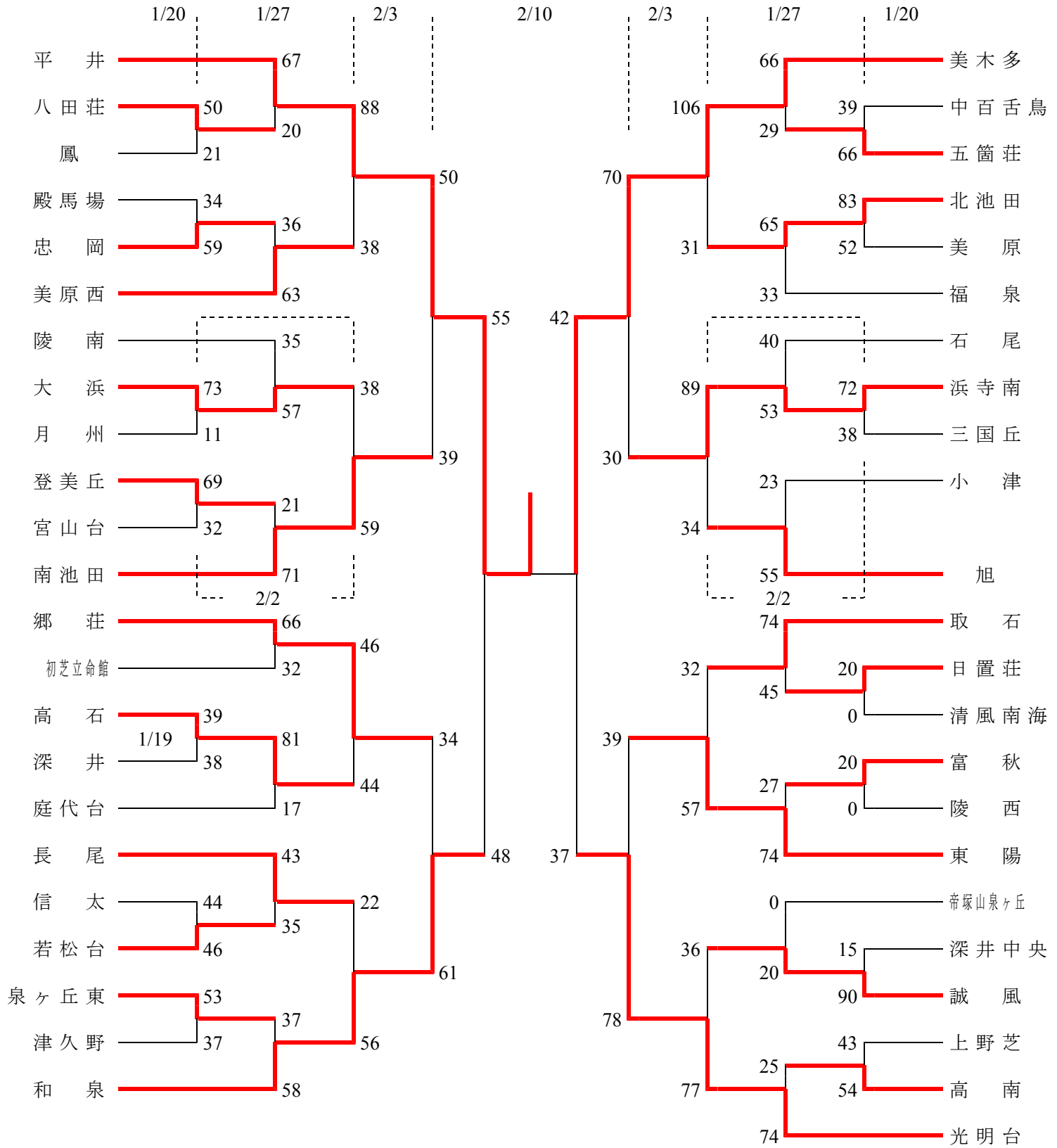


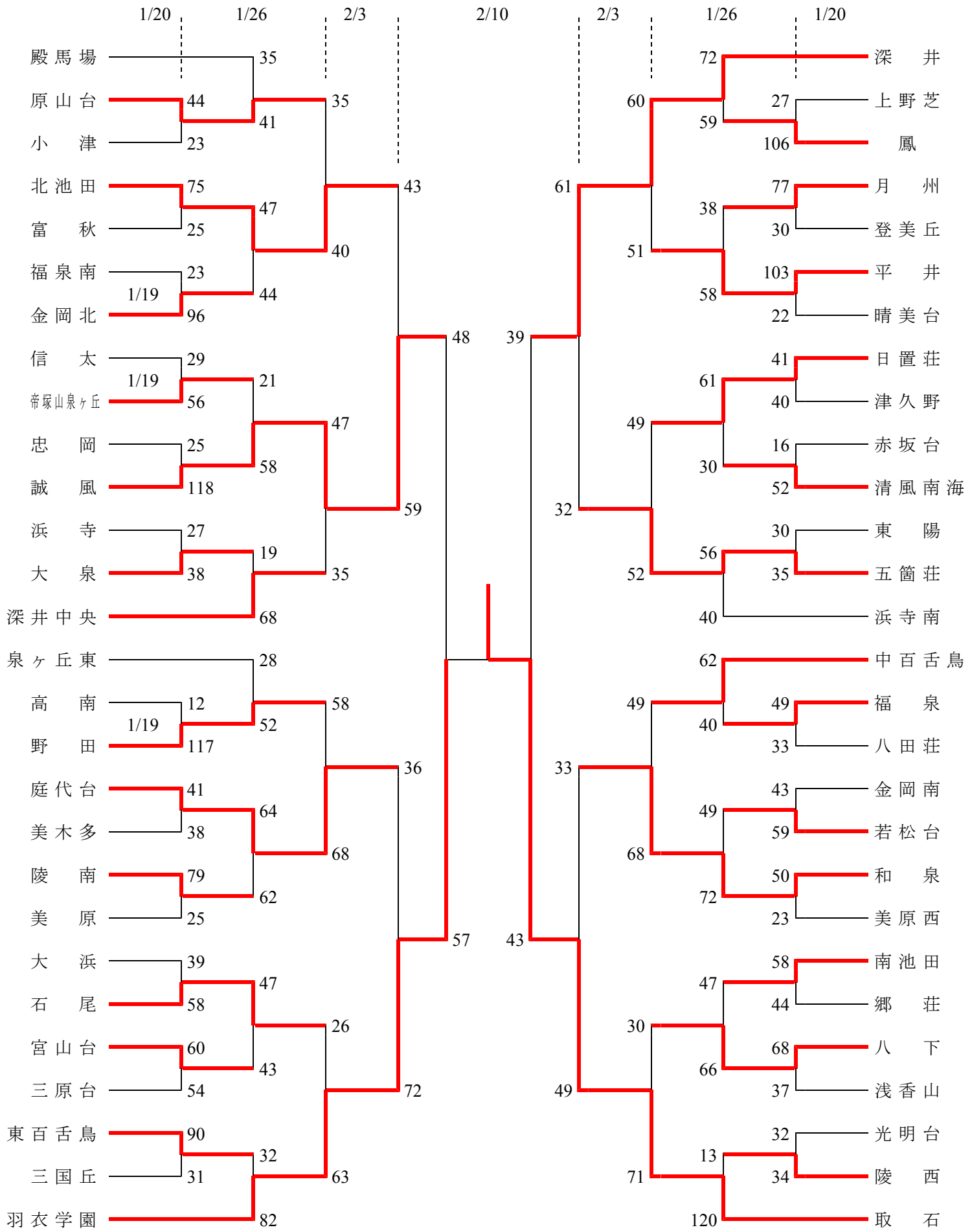
2012年度泉北地区新人大会

男子の部



決勝
平井 49 - 48 美木多
12 1Q 10
10 2Q 15
17 3Q 10
10 4Q 13

女子の部



決勝

羽衣学園	3	4	-	3	8	取石
	6	1Q		9		
	8	2Q		8		
	7	3Q		15		
	13	4Q		6		

男子決勝戦評 平井 49 - 48 美木多

平井④⑤⑥⑦⑩、美木多④⑤⑥⑦⑪で両チームともオールコートマンツーマンでスタート。平井⑤のミドルシュートで試合が動き出す。平井は④がドライブからパスを分配し、バランスよく得点していく。美木多は④の1対1を中心にオフェンスを展開するが、なかなかシュートが決まらない。しかし、積極的なディフェンスを見せる平井がファウルトラブルに陥り、その隙をついて美木多が差を詰め、12-10で1Qを終える。

2Qでは平井④がフェイスガードされ、オフェンスが単調になったところ、美木多⑦のステールや⑥のリバウンドシュートが決まり、逆転に成功する。平井は⑤⑥がファウルトラブルとなり、積極的なディフェンスができず、苦しい展開となる。

後半が始まると、平井はスクリーンを使いインサイドを攻める。対する美木多は⑥がポストアップし起点となっており得点を重ねる。中盤で平井が全員でオフェンスリバウンドをがんばり、再び逆転に成功するも、美木多も粘り強くついていく。終了のブザーと同時に平井⑤がバスケットカウントを得て4点差で最終Qでの勝負となる。

4Qの出だしで平井④の3Pが決まるものの、美木多⑦が好ディフェンスを連発し、平井のリズムを作らせない。一進一退の攻防の中、残り10秒で同点のまま美木多がTOを獲得する。美木多④が1対1を仕掛け、⑦がこぼれ球をねじ込み美木多が会心の2点を獲得する。残り3.5秒、平井はTO後、狙い通りのセットプレーができない。しかし、なんと平井⑥が放ったロングシュートがリングに吸い込まれ、平井が劇的な幕切れで優勝を飾った。

(福嶋)

女子決勝戦評 羽衣学園 34 - 38 取石

羽衣学園⑦⑩⑫⑬⑭のハーフコートマンツーマン、取石④⑤⑥⑦⑫で2-2-1の入りからマンツーマンでスタート。取石は④にボールを集めながらインサイドアウトでパスを展開し、ドライブを中心に攻撃を重ねていく。⑤のペネトレイトからのキックアウトで④がミドルシュートを2本決め、徐々にリズムをつかんでいく。対する羽衣学園はパスを展開しながらチャンスをうかがうが、ゴールに向かって攻め込むことができない。外のシュートも入らず、得点は6点に抑えられる。最後は取石⑤がブザービーターで3Pを決め、取石が3点リードで1Qを終える。

2Qで羽衣学園は⑩を投入し、ドライブを仕掛けてオフェンスのリズムをつかみにいく。良い形でシュートを放つものの、なかなか決めきれず得点が伸びない。取石は1Q同様にインサイドにボールを集めながらパスを展開し、ゴールにアタックしていく。2Qは互いに譲らず、得点差はそのままで前半を終える。

後半から羽衣学園は⑦を戻し、インサイドにボールを集めながらチャンスをうかがうが、うまく崩すことができない。対する取石は④や⑤がリズム良く得点を重ねていく。羽衣学園も⑬の3P、⑩のドライブなどで対抗するが、リズムには乗りきれず、取石が点差を11点に広げて最終Qを迎える。

積極的に攻めるしかなくなった羽衣学園は⑭⑮⑯がゴールにアタックし、点差を詰めていく。対する取石はなかなかシュートが決まらず、一時2点差まで詰め寄られる。しかし、取石は最後にうまく時間を使い、⑤が駄目押しの得点を上げ、接戦をものにした。

(福渡)